

関東信越ブロック 特別優秀賞

■新潟病院

■タイトル

定時昼食時間確保のための 入浴介助方法の改善 —お昼時間にお昼ご飯を食べよう—

■取り組みメンバー構成

(看護師)小池仁美さん、大島慶子さん、佐野陽子さん、桐生明希子さん(療養介助員)笠原直美さん

■要旨

患者様の重症化に伴い入浴介助時間が延長している。そのため、午前中に入浴終了時間が延長し昼食開始時間が遅れることで、午後の患者様の趣味活動等の日課を変更していただくなど負担をかけていた。そこで、お風呂プロジェクトチーム(以降、「お風呂PT」という)を結成し、入浴介助方法について検討し、昼食開始時間確保の為に改善に取り組んだので報告します。



チーム：14病棟お風呂プロジェクト

テーマ選定

当病棟は筋ジストロフィー病棟である。(スライド①参照)筋ジストロフィー患者様は、趣味活動やリハビリテーション等の日課は個々に決まっている。入浴時間についても同様であり、当日の状況で入浴時間や入浴順番を変更することは、その後の患者様の日課に影響するだけでなく生活リズムを乱すことにもつながるため容易ではない。

入浴は患者様の楽しみの日課の一つであり、発熱等の異常症状がみられた場合を除き、ほぼ全員の患者様が週2回(火・金)入浴している。入浴は昼食時間を除き平均9時から16時までの時間を要している。しかし、人工呼吸器装着患者の増加など、年々医療的処置の必要な患者が増え、入浴介助時間が延長していた(スライド②、③参照)。そのため、午前中に入浴終了時刻が延長することにより、日課では11時30分開始である昼食時間が平均1時間遅れ、患者様を待たせてしまうこともしばしばだった。

そこで、お風呂プロジェクトチームをつくり、現状の入浴介助について検討することで、患者様が気持ちよく入浴できること、日課上の昼食開始時間の確保を目標に取り組んだ内容を報告する。

問題の分析

入浴介助時のスタッフの動きはスライド④のとおりである。入浴日は浴室に入浴介助者として人数を割かれるため、残りのスタッフは入浴患者様の準備・入浴後の処置と平行して他の患者様の援助を行わなければならない。

1名あたりの入浴にかかる平均時間は、女性30分、男性20分であった。

問題点を以下のとおり整理した。

①入浴順序及び入浴者数の問題

従来は症状の軽い男性の患者様が入浴し、最後にMRSAの患者様が入浴するため、入浴の順番が男性→女性→男性と、男性の間に女性が入浴していた。しかし、男女の入れ替わりがうまくいかず多くの時間を要していた。

また、重症化により患者層が変わった中でも、従来通り午前中に多くの入浴者を計画していたため、午前中の負担がより多くなっていた。

②入浴日の定期処置(浣腸)の問題

筋ジストロフィー患者様の中でも毎日実施する患者様の入浴前の浣腸処置は時間を要しマンパワーを割かれていた。

③病棟環境の問題

病床が狭く、人工呼吸器装着患者様の準備や処置等がやりにくい環境であること。浴室も物品配置がバラバラであること。

解決の為に行程表

目標を「入浴サービスの質を低下させることなく、11:30に午前中に入浴が終了して、患者様が気持ちよくゆったり昼食を開始できる」と設定して、定期的に試行を繰り返した。また、入浴終了後にスタッフ間でカンファレンスを実施した。また、本PTについては患者様にも協力を依頼、変更内容については了解のもと改善策に向け修正を繰り返した。

改善策としては以下の通りである。

①入浴順序及び入浴者数の改善 (スライド⑦参照)

入浴順序については、女性を午前の最初に入浴できるように変更し、入浴者数については、午前中に入浴者数を減らし、午後に入浴者数を増やした。また、午後に入浴開始時間を14時から13時30分に早めた。

②入浴日の定期処置 (浣腸) の問題

排泄状況をコントロールし、浣腸日を医師の指示のもと入浴日と重ならない月曜・木曜に変更した。

【病棟環境の問題】

スライド⑨、⑩のとおり改善した。

結果

結果はスライド⑪のとおりである。

個々の入浴時間を短縮することなく、昼食時間開始時間を確保できるようになった。

評価

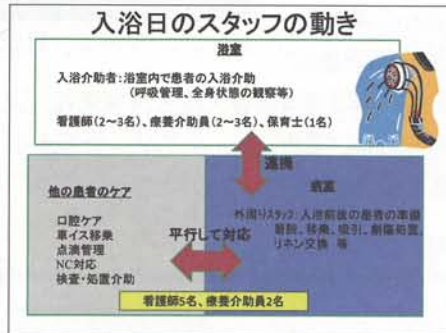
患者様からも「以前のように昼食が

大きく遅れることがなく、昼食開始時間が早くなって良かった」「変更後の入浴時間に不都合ない」などの言葉があり、目標は達成された。

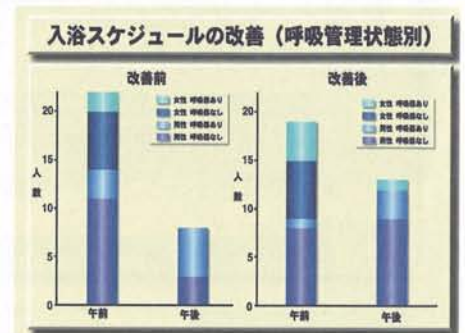
まとめ

マンパワー不足に対して、入浴日に毎回スタッフでカンファレンスを行い、様々な工夫を行ってきた。結果として日課どおりの昼食時間を確保でき、患者様の苦情が少なくなり対応するスタッフの負担感も軽減できた。

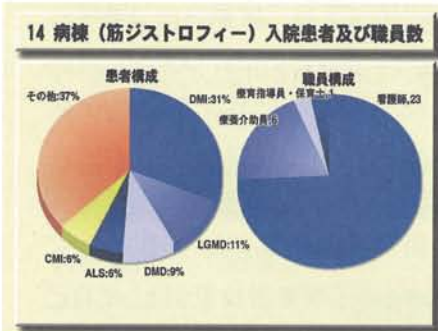
この学びをもとに、今後も新たな問題についてもスタッフやチームで話し合い、全患者様がよりよい療養が送れるように取り組んでいきたい。



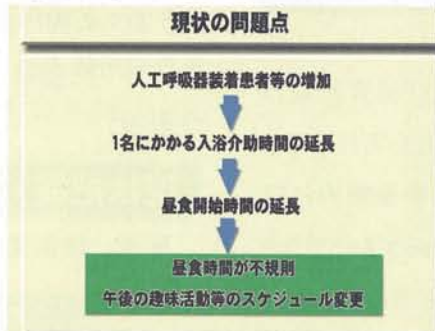
スライド④



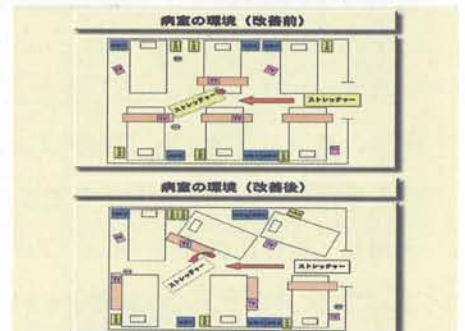
スライド⑧



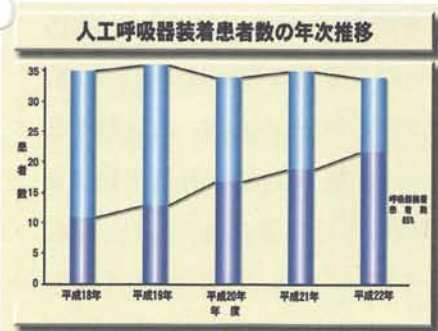
スライド①



スライド⑤



スライド⑨



スライド②

目標 (Goals) section with two bullet points regarding bath schedule adjustments and staff burden.

スライド⑥



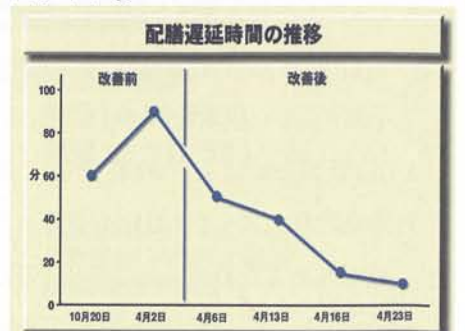
スライド⑩

入浴介助の現状 (Current status of bath assistance) section with details on frequency, time, and staff numbers.

スライド③

改善策 (Improvement measures) section with bullet points on changing bath order and staff assignments.

スライド⑦



スライド⑪